◇南・北支所金融店舗統合に関するＱ＆Ａ

【全体】

Ｑ１．なぜ南・北支所を事業所化しなくてはならないのか。

Ａ１．

○ 限られた労働力で金融事業を維持しつつ、本業である営農経済部門で組合員の皆様の付託に応えていく体制を維持・強化していく為には必要な統合です。

○ 農林中金が示した新営業店システムは一店舗あたりの貯金残高 200 億円程度を想定した高額なシステムであり、これを維持していくには膨大なコストが発生することから、当ＪＡの貯金残高Ｒ５末 630 億（R6 末 655 億）であれば 3 店舗に集約することが運営上適正規模と判断しました。

○ R4.6 総代会付議「支所事業の再構築基本構想について」の中で、今後も金融窓口を置く店舗を金融本店、中央支所、西郷支所を拠点とする案が承認されました。（南・北の事業所移行は継続検討とされました。）

○ 「中央支所」はＪＡ鶴岡の事業エリアの中心地にあり、ワンストップ環境を活かした金融店舗、「金融本店」は市街地に立地する有利な環境を活かし、組合員のみならず准組合員や市民に対しても融資や投資信託相談など、より専門的な金融サービスを提供する金融店舗の位置づけとなります。

Ｑ２．なぜ金融本店への集約ではないのか。

Ａ２．

○ 本店への集約も当然検討はしましたが、慢性的な人員不足による過重労働問題が顕在化しており、集約化・集中化による業務補完が喫緊の課題となっております。全体の貯金残高の 6 割を超える突出した規模の支所となりますが、「中央支所」に集約していく方法が、最も効率的な事業運営となると判断しました。

○ 距離的なご不便をおかけすることになりますが、「支所統合ではなく、あくまでも金融店舗の統合」なので、口座の店舗番号と、担当者の配置場所が変わるイメージで捉えて頂くとともに、店舗フリー化も進んでおりますので（自店でないと出来ない事はありますが、代表者名義変更や貸付申込や口座振替依頼等、限定的ですので）ご理解頂きたい。営農相談等の機能は地区事業所として継続します。

○ 新しい「金融本店」の建築面積は、厳しい経営状況の中で、産直との併設型も見直すなど必要最小限の規模であり、南北の金融職員が入るスペース的余裕がなく、現状の職員で一杯となっております。（既存金融本店延床面積 860 ㎡⇒新店舗 810 ㎡）

Ｑ３．支所単位でしか統合先を変更できないのはなぜか。

Ａ３．

○ ＪＡバンクとしては、店舗統合への対応しか想定しておらず、支所（店舗）単位でしか統合できないシステムとなっています。

○　集落座談会でも要望があり、「地区や集落等の単位ではできないか」手段を確認いたしましたがございませんでした。

Ｑ４．統合による経営に関する削減効果は。
Ａ４．統合後の中央支所の要員配置を手厚くし、混乱を生じない体制を検討中ですが、統合による金融部門からの要員削減により人件費として１千万円強の削減を想定しております。加えて、機器の保守費用や将来的なランニングコストも加味しますと、数千万円の削減効果を見込んでおります。

【貯金】
Ｑ１．定期貯金は現在証書とＡＴＭ定期の選択ができるが、今後も継続するのか。
Ａ１．両方継続して取扱います。ＡＴＭでの定期貯金を利用するには総合口座か定期貯金通帳が必要です。ＡＴＭ定期は年間を通して金利上乗せがあるのでお勧めしています。

Ｑ２．利用者の高齢化が進み、本人確認が必要な手続きが困難な場面が増加している中で、ＪＡ独自の負担軽減・手続き簡略化などの改善はできないか。
Ａ２．現状ではマネー・ローンダリング対策など法的な縛りがあること、個人の貯金はあくまで個人の意思により入出金することが大前提であることからご要望の実現は難しいと考えています。ただし、来店が困難な場合には訪問対応での手続きを実施しています。

Ｑ３．通帳・キャッシュカードの更新手続きは必要か。
Ａ３．通帳は統合後初めての来店時に店番の変更対応を行いますが、キャッシュカードは、特段更新手続きは必要ありません。クレジット一体型キャッシュカードの場合は、クレジットカード更新時に店番も更新されたカードが発行されます。

Ｑ４．団体の会計を複数管理しており、キャッシュカードが複数枚あると暗証番号が覚えられない。同じ番号にしてもよいか。
Ａ４．複数のキャッシュカードの暗証番号を同一にすることは可能です。ただし、暗証番号の管理には十分ご注意願います。

Ｑ５．複数の通帳のキャッシュカードを一枚にまとめられないか。
Ａ５．一口座につきキャッシュカード一枚と定められておりますのでまとめることはできません。

Ｑ６．既存の口座振替契約にかかる口座振替依頼書は再提出する必要はあるか。

Ａ６．そのまま引継ぎさせていただくので再提出は不要です。

【ＡＴＭ】

Ｑ１．ＡＴＭの通帳繰越ができない場合がある。その時はどうすればいいのか。

Ａ１．条件にもよりますが、通帳繰越できないＡＴＭで記帳欄が一杯になると、通帳の最終ページに「窓口へ」誘導する印字がされますが、「通帳対応ＡＴＭ」で記帳することで繰越できます。なお、「通帳対応ＡＴＭ」はどの店舗にも設置してあります。

Ｑ２．ＡＴＭの利用手数料を変更する予定はあるか。

Ａ２．ＪＡのＡＴＭは終日無料で利用できます。ほかの金融機関やコンビニなどのＡＴＭは手数料がかかります。

【共済】

Ｑ１．ＬＭＡによる出向く体制の強化について具体的にはどのように取り組むのか。

Ａ１．３Ｑ訪問活動を積極的に行いながら、機会を捉えて頻繁に声掛けさせていただきます。ＬＭＡがお客様にとって身近な存在として訪問できるような体制としていきたいと考えています。

【その他】

Ｑ１．農林中金の経営状況は。

Ａ１．すでに報道もされておりますが、農林中央金庫の 2024 年度決算は計画的な低利回り資産の売却損により純損失 1 兆 8,078 億円を計上しましたが、当初計画（1.9 兆円）の範囲内となっております。2025 年度以降は数百億円程度の安定的な黒字に転換する見込みです。

Ｑ２．店舗統廃合の実施日は決定しているのか。

Ａ２．まだ決定しておりませんので、決まり次第お伝えします。